みなと SDGs パートナー 登録申請書

<u> 令和 4</u>年 8月 4日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	•	団	体	名	神野建設株式会社
所		7	Ξ		地	北九州市若松区大字安瀬 25 番地の 1
代	表者	í 役	職	・氏	名	代表取締役 神野 康
+□	MZ		\#	<i>6</i> 45	4	電 話:093-761-1031 (担当:神野 済)
担	当	有	建	絡	先	メール:h-kamino@kaminokk.co.jp
ウ	ェブ	サ~	イト	U R	L	http://kaminokk.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 41 年に創業した港湾土木工事業者であり、福岡県の港湾を中心とした港湾構造物工事・浚渫工事・埋立工事の請負事業を実施している。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 √社会 √経済	有給休暇取得率の目標値を設定	有給休暇取得率 【現状】69% 【目標】80%
√環境 □社会 □経済	事業活動から発生した、古紙、段ボールのリ サイクル	リサイクル率 【現状】80% 【目標】100%
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

	カ		目什的打頭如							ゴー				ト)関				
	カ テ ゴ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	<u>1</u>		3	4	5	6	7	8	9 10					5 16	
	リー		併せて記載してください。)	frésid.	2	3 ******* -⁄√•	4 Education	5 0000-FFEE	6 SERVICE	7 Hard-Market	8 11222	9 #####################################	11 ::::::	12 :::12	14 865 14 865	15 ### E	16 TATES	17
1	•	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	女性活躍企業として、次世代育成支援対策推進法に 基づく一般事業主行動計画を策定し、実行している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.	2 3				16.1 16.2 16.7	
2	労働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	ハラスメント問題について、 社労士に相談できる体制を構築					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	有給休暇取得率の目標値を設定								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8	10. 10.						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる				3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	従業員に対して、定期的な健康診断を実施			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	女性活躍企業として、次世代育成支援対策推進法に 基づく一般事業主行動計画を策定し、実行している					5.1 5.5			8.5	10. 10.						
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	自社にとってあるべき人材像を明確に定義し、人材育成のためのOFF-JTのプロジェクトを計画し、毎年実施している				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5	10. 10.	2 3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる				3					8							
11		【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュー ス、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	紙、段ボール、空き缶、空き瓶、ペットボトル等、 リサイクルできるものの分別の徹底										11.6	12.4	14	4.1		
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					3			
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	日々の節電など組織全体で取り組んでいる							7.2 7.3				12.4 1	3.3			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	6 12.4				

ſ	カー		F. I. I. I. F. 70				主な	SDGs	s (17	7ゴー	-112	<u> 169</u>	ター	ゲッ	ト) [関連リ	頁目			
	カテゴ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8			11			14			
	コー		併せて記載してください。)	138 Min	2 ****	3 155045 -W-	4 man-ant	5 \$255, THE	6 seeses	7 5116-41110	8 ####	9 antiform	10 APRATES	11 125000	12 ::::::	13 ZHENG AMERICAN	14 ****** 15 ***	16 👯	17 🚟	8237 8
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	IS014001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	製品・コ	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	IS09001を取得している			3.9									12.4					
22	サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	IS014001を取得している						6						12	13	14	15		
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	6 1	7
25	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15	1	7
26	· 地	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	毎月地域の清掃活動に参加している				4							11			14	15	1	7
27	域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

Γ	カ			L			主	なSD(is (1	7ゴ・	ール	<u>16ع</u>	9ター	ゲッ	<u>F)</u>				
	カーテー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	+		14 15	16	17
	ゴリ	, - , , , -	併せて記載してください。)	1.88 1000	2 ****	3 ESTERS	4 February	5 SECONTER	6 Research	7 Stad-Gaze	8 11211	9 18:55	10 4000000	11 ::::::	12 3555	13 24550	14 ************************************	16 PROPER	17
28	組織体	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している									8	9							17
29	制	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが 社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	責任者を明確にして体制を管理している															16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ メントするプロセスを整備している																16	
33		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	経済産業省の事業継続力強化計画を取得									9		11		13.1		16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13 14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 北九州市若松区大字安瀬 25 番地の1

名 称: 神野建設株式会社

代表 者: 代表取締役 神野康

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	有給休暇取得率の目標値を設定	有給休暇取得率 【現状】69% 【目標】80%	【令和 4 年度】84%
√環境 □社会 □経済	事業活動から発生した、古紙、段ボールのリサイクル	リサイクル率 【現状】80% 【目標】100%	【令和 4 年度】85%
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 北九州市若松区大字安瀬 25 番地の1

名 称: 神野建設株式会社

代表 者: 代表取締役 神野康

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	有給休暇取得率の目標値を設定	有給休暇取得率 【現状】69% 【目標】80%	【令和 5 年度】77.5%
✓ 環境□社会□経済	事業活動から発生した、古紙、段ボールのリサイクル	リサイクル率 【現状】80% 【目標】100%	【令和 5 年度】88%
□環境 □社会 □経済			

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 北九州市若松区大字安瀬 25 番地の1

名 称: 神野建設株式会社

代表 者: 代表取締役 神野康

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	有給休暇取得率の目標値を設定	有給休暇取得率 【現状】69% 【目標】80%	【令和 6 年度】72%
✓ 環境□社会□経済	事業活動から発生した、古紙、段ボールの	リサイクル率 【現状】80% 【目標】100%	【令和 6 年度】80%
□環境 □社会 □経済			